Energia

報 道 資 料

平成１５年８月２日
中国電力株式会社

島根原子力発電所2号機の発電開始について

島根原子力発電所2号機（沸騰水型，定格出力８２万キロワット）は，平成15年4月15日から第１１回定期検査を実施しておりますが，平成15年8月1日21時00分，発電を再開（原子炉起動，7月29日10時00分）しました。

８月下旬には経済産業省の検査を受け，定期検査を終了する予定です。
なお，今回の定期検査時に実施した主な工事は別紙のとおりです。

以上

（別紙）定期検査時に実施した主な工事

別紙

定期検査時に実施した主な工事

（1）燃料取替工事

原子炉内の全燃料560体のうち，144体を新燃料に取替えた。

（2）制御棒駆動機構取替工事

制御棒駆動機構137体のうち，20体を同一設計の予備品に取替えた。

（3）出力領域計装取替工事

出力領域計装の検出器集合体31体のうち，13体を同一設計の検出器集合体に取替えた。

（4）逃がし安全弁取替工事

逃がし安全弁12台のうち，6台を同一設計の予備品に取替えた。

（5）タービン建物配管室床ドレンサンプタンク取替工事

タービン建物配管室床ドレンサンプタンクの取替を行った。

（6）制御棒取替工事

ボロンカーバイド粉末を制御材とする制御棒12本，およびハフニウム棒を制御材とする長寿命化した制御棒4本をそれぞれ同一設計の制御棒に取替えた。

（7）発電機回転子点検工事

発電機回転子をメーカーの工場へ送り細密点検を行った。

（8）B，C低圧タービン動翼修理工事

B，C低圧タービン動翼最終段翼の取替修理を行った。

（9）その他

a．炉心シュラウドの溶接線点検

炉心シュラウドの溶接線については，中間部胴内側溶接線近傍に1箇所，長さ約26mmのひびが認められた。

このため，点検可能な箇所全ての溶接線の確認を行うこととし，当初点検予定の4本に加え，次回定期検査で予定していた4本の点検及び，前回定期検査で実施した4本の点検ビデオ記録の再確認を行った。

点検の結果，中間部胴内側溶接線近傍で認められた長さ約26mmのひびは最大深さ約16mmであった。また，中間部胴内側溶接線近傍で認められたひびを除き，異常は認められなかった。

炉心シュラウドのひびについては，5年後においても健全性は確保されるとした当社の評価結果は妥当との国の判断を受けているが，今後，適切に点検を行いひびの進展状況を確認していく。

b．原子炉再循環系配管等の溶接継手部点検

原子炉再循環系配管の溶接継手部27本及び原子炉冷却材圧力バウンダリを構成するその他のSUS316L系材を用いた配管の溶接継手部5本の点検を行い異常は認められなかった。

以上